

医療連携だより

院長挨拶



2020年の今年、新型コロナウイルスが世界中で大きな脅威となって人類の前に立ちふさがり、SARS、MERSや新型インフルエンザの時と比べものにならないくらいその影響は甚大で感染者、死者が多数出ています。これによって人と人の距離が広がり、社会の経済活動がずたずたに切り裂かれているような状況です。人間同士が疎遠になるばかりか世界の国同士の関係さえ悪化することが懸念されています。

日本では欧米ほどの感染は見られていないものの、東京などでは悲惨な状況になってきています。この文章を書いている時点では岩手県に新型コロナウイルス感染の患者は発生していませんが、間違いなくそろそろ発生するものと考えてこころの準備をしているところです。

我々医療人がこのウイルスと戦うためには一般的な個々人の注意が重要であるのは勿論のこと、こんな時にこそこれまでに築き上げてきた地域の医療のネットワークを最大限に活用し、あるいは更に発展させて、対策の情報を共有する必要があります。どこかに一つでもほころびがあれば、そこをウイルスにつかれてしまう危険があります。我々は油断することなく、常に同じ意識、方法でウイルス対策に臨み、それぞれの施設の役割分担を明らかにしながら連携を強めていくことが求められているのだと思います。

このような有事においてこそ、あらためて地域医療連携の重要性を思わずにはいられません。まずは当面の課題であるウイルス対策において連携の程、宜しく願いいたします。

菊池 淳

《奥州市総合水沢病院基本理念》「市民に身近な医療を提供する病院」「健全を基盤に活力のある病院」

【方針】「市民と職員との心の通い合う医療を目指して」

1. 患者様最優先の医療サービスを志します
2. 市民の健康を増進する医療サービスに努めます
3. 最善かつ負担の少ない医療を提供します
4. 医療水準の向上に努め、安心安全を提供します
5. 地域の各医療・保健・福祉機関等と連携します

新任医師紹介

今年から奥州市総合水沢病院で勤務すること
な^さった内科の佐々木 裕 と申します。簡単ではありますが自己紹介をさせていただきます。

私の出身は岩手県釜石市で釜石南高校卒業、その後岩手医科大学に入学いたしました。

大学を卒業後は岩手県立久慈病院で2年間の研修をした後、消化器内科として県立久慈病院で勤務し、その後北上済生会病院で勤めておりました。市町村の奨学生であり、岩手県内の地域医療に携わるため水沢病院で勤務することとなりました。

高校から大学までラグビー部に所属しておりましたので、体力には自信があります。趣味はスポーツ観戦です。

今までは消化器内科として内視鏡検査、治療を中心にやってきました。消化器疾患に関しては今まで通りに検査と可能な限りの治療をしていきますが、消化器疾患だけではなく一般内科として、奥州市の地域医療に貢献できるように努めてまいります。

新型コロナウイルスの影響もあり大変な時期ですが、スタッフと協力しより良い医療を提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



※神経内科、泌尿器科外来にて、それぞれ非常勤医師による診察を開始しました。
詳細は診療予定表をご覧ください。

退任医師紹介

副院長兼診療部循環器内科長	宮川 朋久
診療部長兼整形外科長	中村 聡
診療部整形外科医師	高橋 秀介
診療部麻酔科長	佐藤 公淑

ありがとう
ございました



Dual Energy CTの物質弁別処理を利用した新しいコントラスト

医療技術部 放射線科 主任診療放射線技師 高橋伸光

Dual Energy CTをご存知ですか？異なるエネルギーのX線を照射してデータを得るCTです。我々はこのCTの特徴のひとつである物質弁別処理に注目し、骨折時に生じた骨内血腫を描出する手法を2017年に確立しました。このスタディは富山労災病院の野水技師との共同研究で、同画像の呼称をBone Bruise Image（以下BBI）とし、学会などで報告しています。

BBIは従来CTで検出し難かった骨挫傷所見を感度良く描出できるほか、微小骨折や不顕性骨折の診断に実績があります（Fig 1）。

また、当院では骨粗鬆症性椎体骨折の新旧病期評価にも使用しており、成績は感度96.3%、特異度98.2%です（Fig 2）。標準手法であるMRI診断（感度99.0%、特異度98.7%）と比較して、ほぼ同等の成績です。BBIの優位性は、短時間で検査が可能なこと、MRI禁忌患者さんに対応可能なことが挙げられます。臨時検査に対応し易く、即日確定診断に至るため適切な治療を迅速に開始でき、ADL低下を防ぐことにも期待を寄せています。将来、同画像が多くの施設で標準的に活用されるよう発信を続けられたらと思います。

Fig 1. 不顕性骨折と骨挫傷の1例

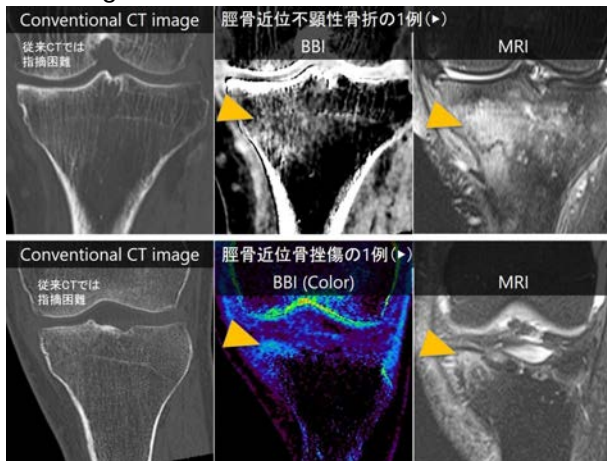
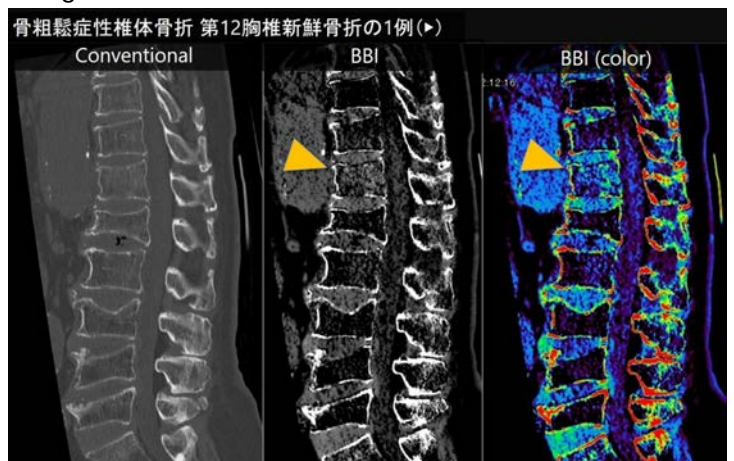


Fig 2. BBIによる骨粗鬆症性椎体骨折の新旧病期評価



～受託検査のご案内～

当院では、かかりつけの先生からのお申込みにより検査のみを受けていただける「受託検査」を行っております。

詳細は当院ホームページ（<http://www.mizhsp-iwate.jp>）内、医療連携室のページをご覧ください。

なお、新型コロナウイルス蔓延の状況を鑑み、検査当日の検温と問診票の記載をお願いしております。ご理解の程、お願い申し上げます。



医療連携室スタッフ紹介

いつもお世話になっております。

4月よりスタッフが増え、看護師4名、医療ソーシャルワーカー3名、医療社会事業士1名（デイケア専従）の計8名となりました。

「安心して信頼される質の高いサービスの提供」を目標に、丁寧かつ迅速な対応を行ってまいります。

今年度もよろしくお願い致します。



●お知らせ●

- ・当院へ患者様をご紹介いただく際は、患者様がスムーズに診療を受けていただくことができるよう、FAXによる診療申込でのご予約をお勧めしております。
- ・診療科によっては予約日時のお返事に時間を要する場合がございます。その場合は電話にてご連絡させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- ・当日の患者紹介につきましては、直接診療科の医師に電話でご連絡いただいた後に、診療申込書、診療情報提供書等をFAXにてお送りいただきますようお願いいたします。

（！）新型コロナウイルス感染症に伴う大切なお知らせ

新型コロナウイルス感染症から皆様をお守りするため以下のことにご協力ください

- ・次の症状での受診の場合は直接来院せず、必ず電話でお問い合わせください。
→発熱等の風邪症状、強いだるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、嗅覚・味覚障害
- ・夜間や土日祝日などは検査、処方等十分ではないため、できる限り平日の8:30～15:00までの受診をお願いいたします。
- ・来院する際は必ずマスクの着用をお願いいたします。
- ・受診以外の来院はお控えください
- ・原則、ご家族であっても面会を禁止しております。依頼等がない限り、病棟への出入りはできません。

皆さまのご理解とご協力をお願い致します



奥州市総合水沢病院 医療連携室

〒023-0053

岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地

電話 0197-25-3833（代表／内線257）

FAX 0197-25-4012（医療連携室直通）

URL <http://www.mizhsp-iwate.jp>

